

# 岸和田市内で活動するNPO法人活動実態調査アンケート 集計結果

2007年9月28日

アンケート回収率	
配付数	45団体
回収数	26団体
回収率	57.8%

アンケートを郵送した45団体のうち、7団体が宛先不明や転居先不明等の理由で返戻された。また、有効回答数は25団体であった。

## ・活動の状況

### - 1) 貴団体の中心的な活動分野は何ですか。(複数回答可)

今回の調査で回答したNPO法人(25団体)の活動分野は、「保健、医療、福祉」及び「子どもの健全育成」が44%と最も多い。

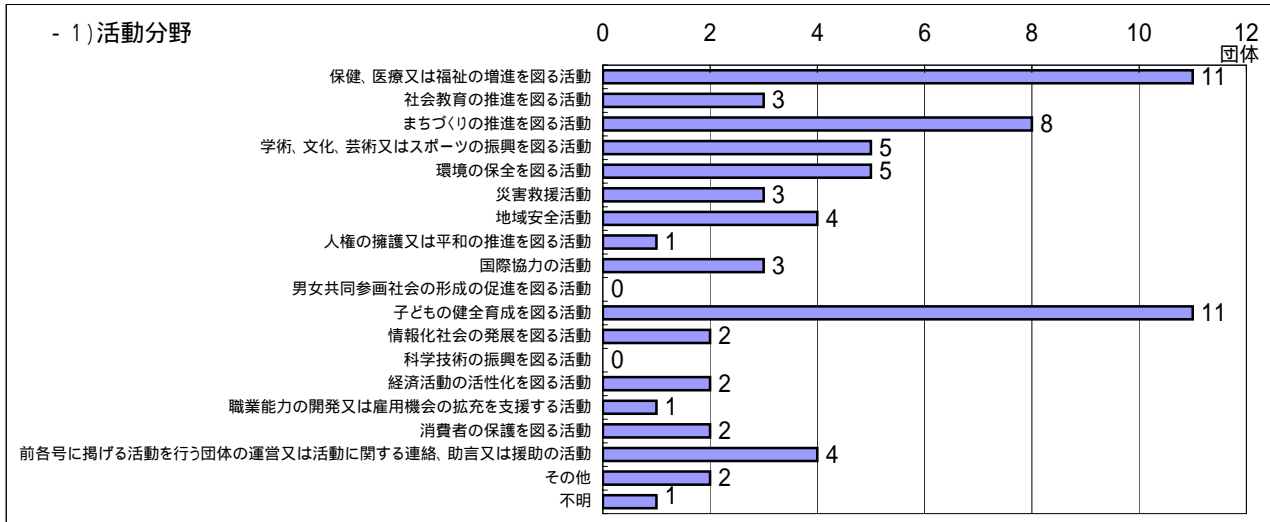
ちなみに全国の活動分野は、多いものから「保健、医療、福祉」が58.2%、「社会教育」が45.9%、「まちづくり」が40.2%、「子どもの健全育成」が39.6%となっており、岸和田市では「子どもの健全育成」に関する活動の割合が全国よりも高くなっている。

回答 25団体 複数回答

	回答数	回答団体割合(%)
1 保健、医療又は福祉の増進を図る活動	11	44
2 社会教育の推進を図る活動	3	12
3 まちづくりの推進を図る活動	8	32
4 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	5	20
5 環境の保全を図る活動	5	20
6 災害救援活動	3	12
7 地域安全活動	4	16
8 人権の擁護又は平和の推進を図る活動	1	4
9 国際協力の活動	3	12
10 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	0	0
11 子どもの健全育成を図る活動	11	44
12 情報化社会の発展を図る活動	2	8
13 科学技術の振興を図る活動	0	0
14 経済活動の活性化を図る活動	2	8
15 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	1	4
16 消費者の保護を図る活動	2	8
17 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	4	16
18 その他	2	8
19 不明	1	4
	68	-

### その他の回答

- ・ 子供の命と暮らしを守る



- 2) 具体的にはどういった活動を行っていますか。事業内容を簡単に書いて下さい。(自由記述)

回答 22団体

- 平成19年5月中旬設立につき、現在まだ具体的活動は行っていない。予定としては神経学的音楽療法に関する講演会などを考えている。

- 自然環境が悪くなっていく里山を多様性に富んだ「緑の財産」として再生していくなかで市民が活動の担い手となり持続、継続できる新しい里山保全システムを創り出すことを目的に 里山整備事業 里山ボランティア育成事業 里山体験、環境学習事業

- 障害児の学童保育 障害児への居宅介護サービスの提供

- 保険、福祉の増進については住民参加型在宅福祉サービスを行っています。介護保険導入後はサービス量が減少している。まちづくりの推進を図る活動は(イ)市の行っている「協働のまちづくり推進委」(ロ)市内のボランティア、社協関係者、地域の人たちとのまちづくりの活性化(ハ)自分が在住する町内の新しい組織づくり 町内の祭り組織等に協力を依頼し従来の町内組織とクロスするような高齢者、子供、環境、防犯、防災、世代間のネットワーク組織を作る作業中。

- 福祉サービス第三者評価機関(高齢福祉分野) 認知症高齢者グループホーム外部評価 定例会、研修会(月1回)見学会、講演会

- 訪問介護

- 高齢者および障害者に対する「生活支援サービス(日常生活の中での身体、外出介護、家事援助等)」並びに「福祉有償サービス(車による外出支援)」

- 高齢者および障害者への医療機関、保健施設、福祉施設、介護事業所、居宅支援事業所、居住用不動産に対する相談及び幹施を中心に自立を支援するための活動。

- 事業種類 卓球大会 ・泉州銀行杯争奪! 『泉州市民卓球大会』 ・TSP杯争奪! 『趣味の卓球大会』 ・TSP杯争奪! 『夏の卓球甲子園大会』 教室・講演会 ・岸和田(卓球)スポーツ少年団(年間事業) ・箕土路青少年会館 『日曜卓球』クラブ その他 ・『卓球』指導者研修会

- 若者、高齢者の就労機会を創り出し、その為母体の会社は建設コンサルタントを営んでおり環境の整備や(里山、休耕田他)河川、道路等のバリアフリーの推進等とリンクさせ生きがいに結びたいところであるが世の中は公共事業等の削減で上記に反しており私共だけで地元のブナ林に出向いて作業を手伝ったり、毎年春木川の清掃、中洲の整備とピオトープ、パードサンクチュアリの確保等、また河川管理上問題のない程度で生態系の保全を図り中洲にからし菜、菜の花の種を蒔いたりする。

- 3歳、4歳、5歳児の保育(内容は幼稚園)施設の運営。直接、幼児の保育の他に母親に対する子育て支援活動

- 介護福祉用品、貸与、販売と住宅修理

- 活力あるまちづくり運動の実施とまちづくり報告会。設け労働環境改善を目指した活動。岸和田市公共建設物の防災を促進する活動。

- 大阪府泉州地域と和歌山県紀北地域の相互交流発展のための活動を行っている。

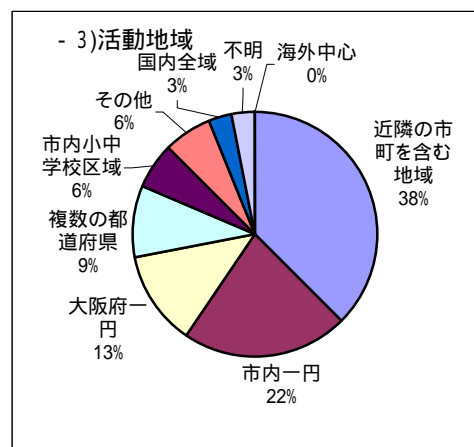
- ・高齢者介護（居宅介護、通所介護、訪問介護） ・障害者自立支援 ・介護タクシー ・子育て支援 『在宅サービス』
- ・ 介護保険法による訪問介護 障害者自立支援法による居宅介護 岸和田市地域支援事業の移動支援 有償運送及び有償ボランティア
- 1、会員相互の助け合い。奉任した会員は時間預託点数たして貯え、その分また自分がしてもらえ  
る。
- 2、社協、市等の依頼による奉任活動。（例）久米田公園の清掃。送迎。
- 1、苦情を持っている人達に対する助言。サポート等を行い、問題解決を計り、一般消費者及び、一  
般生活者の権利擁護活動。
- 2、駅周辺、繁華街などでの地域巡回注意活動、安全確保の提案。
- 外国建設技術者（JICA 研究生・留学生等）へのシンポジウム、研修、見学会等の実施及び支援  
（例）JICA 研修講師派遣（毎年） 建設関係国際学会・セミナー等の支援 （例）国際橋梁会  
議 H16、世界地盤工学 H17、日独橋梁シンポジウム H19
- 高校生への学習支援事業 高校生の国際交流支援（短期語学研修の派遣） 地域の文化、ス  
ポーツ活動支援（講演を中心に仲間づくりサロン「文化の林」の開催）
- ・ スポーツクラブ
- 自分たちの街を自分たちの力でより良くするために活動している。メインの活動は、「きたときより  
もうつくしく」を実践するために二色の浜をはじめとした清掃活動を5～9月の月1回行っている。  
その他には、地域の情報を発信するためのインターネットサイトの運営を行っている。

- 3 ) 貴団体の主な活動地域はどちらですか。（複数回答可）

活動地域は、岸和田市をベースに岸和田市内～近隣市町を範囲とする団体が多く、全体の66%を占める。

回答 25団体 複数回答

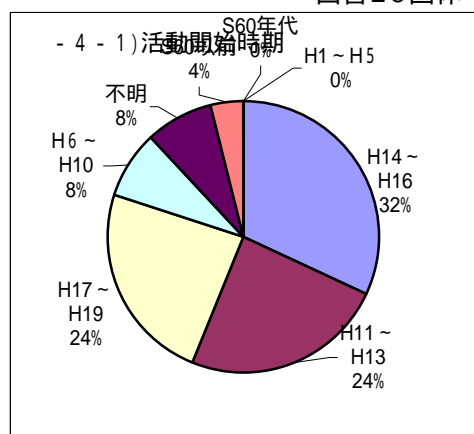
	回答数	回答団体割合(%)
1 市内の小中学校区～中学校区程度	2	8
2 市内一円	7	28
3 近隣の市町を含む地域	12	48
4 大阪府一円	4	16
5 複数の都道府県	3	12
6 国内全域	1	4
7 海外中心	0	0
8 その他	2	8
9 不明	1	4
	32	-



- 4 - 1 ) 貴団体が岸和田市内で活動を始めた時期はいつですか。

回答25団体

	回答数	割合(%)
1 昭和60年より以前	1	4
2 昭和60年代	0	0
3 平成元年～平成5年	0	0
4 平成6年～平成10年	2	8
5 平成11年～平成13年	6	24
6 平成14年～平成16年	8	32
7 平成17年～平成19年	6	24
8 不明	2	8
	25	100

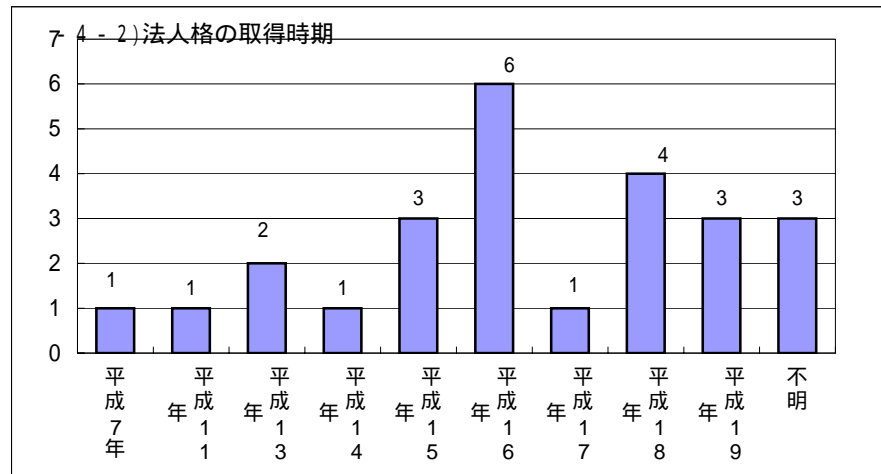


- 4 - 2 ) 法人格の取得時期（NPO法人格を取得した和暦を記入して下さい）

法人格取得時期は、「平成16年」と回答した団体が25団体中6団体と最も多く、全体の24%である。

回答25団体

	回答数
平成7年	1
平成11年	1
平成13年	2
平成14年	1
平成15年	3
平成16年	6
平成17年	1
平成18年	4
平成19年	3
不明	3
	25



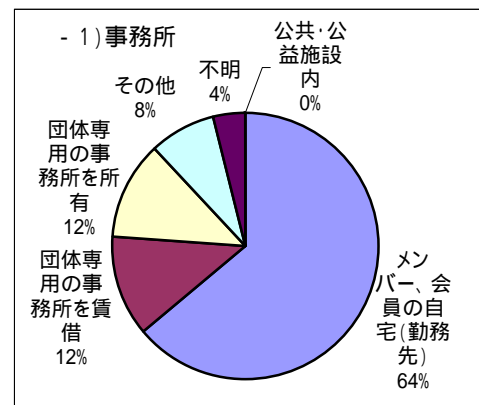
### ・組織の状況

- 1) 貴団体の主たる事務所(事務局)はどこになっていますか。

事務所を「メンバー・会員の自宅または勤務先」に置く団体が25団体中16団体と最も多く、全体の64%を占める。

回答25団体

	回答数	割合(%)
1 メンバー、会員の自宅(勤務先)	16	64
2 公共又は公益施設内(市民センター、ボランティアセンター、産業会館等)	0	0
3 団体専用の事務所を賃借	3	12
4 団体専用の事務所を所有	3	12
5 その他	2	8
6 不明	1	4
	25	100



### その他の回答

- ・ (医)吉栄会 吉川病院内
- ・ 保育施設の一部を併用

### 事務所賃貸料

- ・ 月額25,000円
- ・ 月額100,000円
- ・ 月額20,000円

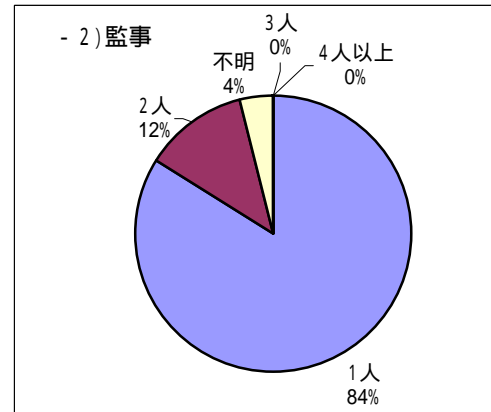
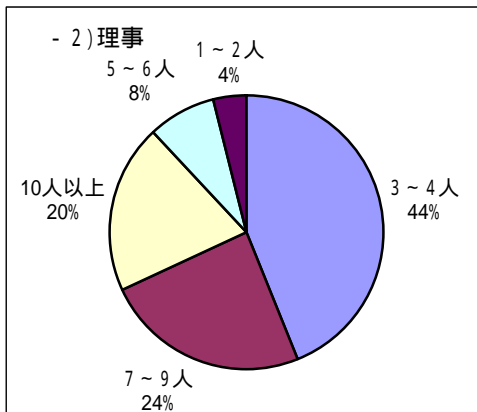
- 2 ) 貴団体の役員、職員・スタッフ体制等はどうなっていますか。

回答25団体

役員数

理事	回答数	割合(%)
1 1～2人	1	4
2 3～4人	11	44
3 5～6人	2	8
4 7～9人	6	24
5 10人以上	5	20
	25	100

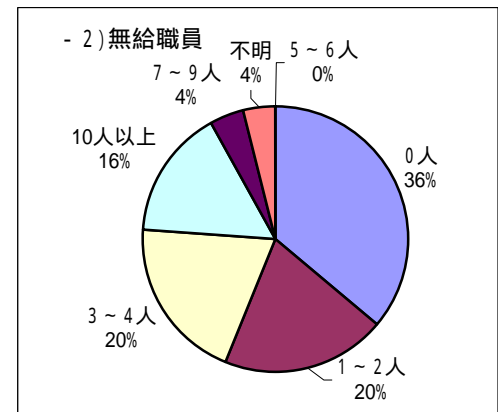
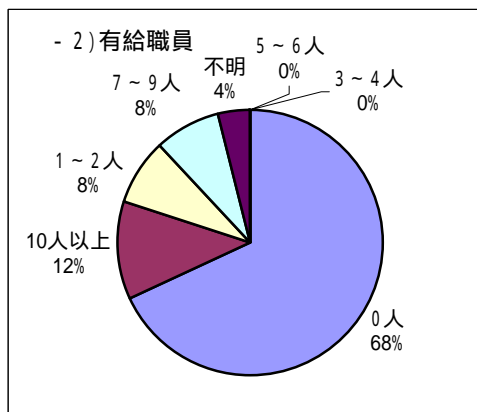
監事	回答数	割合(%)
1 1人	21	84
2 2人	3	12
3 3人	0	0
4 4人以上	0	0
5 不明	1	4
	25	100



職員数

有給	回答数	割合(%)
1 0人	17	68
2 1～2人	2	8
3 3～4人	0	0
4 5～6人	0	0
5 7～9人	2	8
6 10人以上	3	12
7 不明	1	4
	25	100

無給	回答数	割合(%)
1 0人	9	36
2 1～2人	5	20
3 3～4人	5	20
4 5～6人	0	0
5 7～9人	1	4
6 10人以上	4	16
7 不明	1	4
	25	100

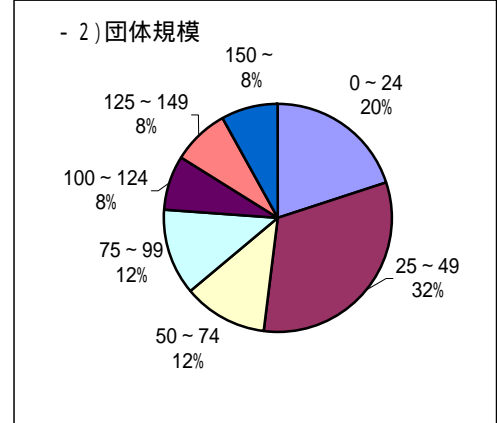
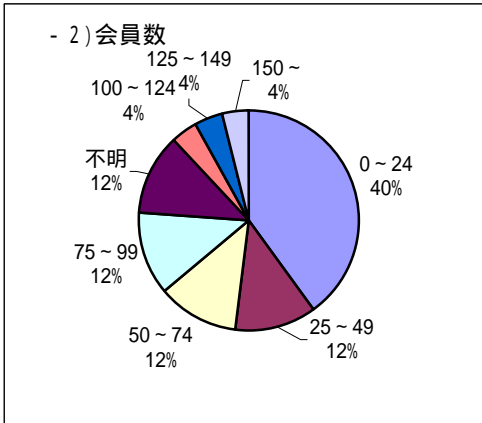


会員数

団体規模 (役員数 + 職員数 + 会員数)

		回答数	割合(%)
1	0～24	10	40
2	25～49	3	12
3	50～74	3	12
4	75～99	3	12
5	100～124	1	4
6	125～149	1	4
7	150～	1	4
8	不明	3	12
		25	100

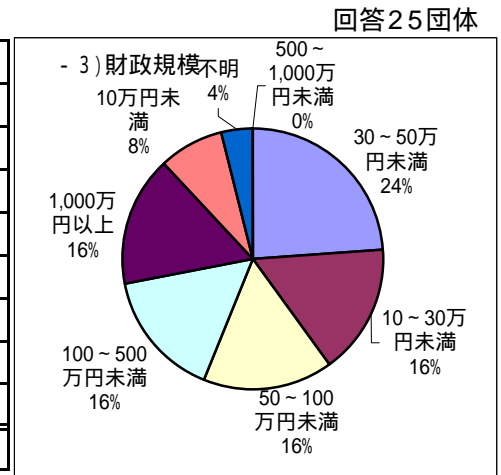
		回答数	割合(%)
1	0～24	5	20
2	25～49	8	32
3	50～74	3	12
4	75～99	3	12
5	100～124	2	8
6	125～149	2	8
7	150～	2	8
		25	100



- 3) 貴団体の事業年度における財政規模(支出)はどうなっていますか。

財政規模は、「30～50万円未満」が6団体・24%と最も多い。また、財政規模が100万円未満の団体は25団体中16団体で、全体の64%を占める。

		回答数	割合(%)
1	10万円未満	2	8
2	10～30万円未満	4	16
3	30～50万円未満	6	24
4	50～100万円未満	4	16
5	100～500万円未満	4	16
6	500～1,000万円未満	0	0
7	1,000万円以上	4	16
8	不明	1	4
		25	100



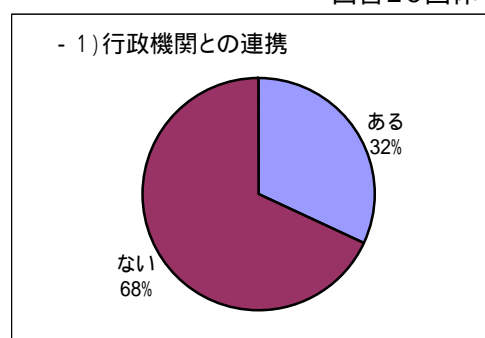
・日々の活動

- 1) 貴団体では、これまで行政機関（市役所の各部署だけでなく、大阪府、保健所、警察署などといった行政機関を含む）と連携・協力して事業に取り組んだことはありますか。

行政機関との連携が「ない」と回答した団体は17団体・68%。また、行政機関との連携が「ある」と回答した8団体14事業のうち、岸和田市の行政機関との連携は4団体4事業である。

回答25団体

	回答数	割合(%)
1 ある	8	32
2 ない	17	68
	25	100



ある場合

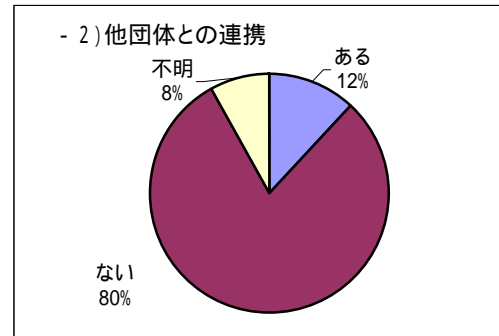
事業の名称	相手方	内容
神於山地区 生活環境 保全林 自然再生事業	大阪府 泉州農とみどりの総合事務所	府の実施する保安林事業地域のうち4haを担当し自然再生を行う
神於山まつり	岸和田市環境保全課	神於山を知ってもらうため市民対象に里山体験等イベントを行う
障害児タイムケア事業	生涯福祉課	障害児タイムケア事業の受託
福祉サービス第三者評価 調査研究(2件)	福祉サービス第三者評価推進支援会議・大阪 大阪府健康福祉部地域保健福祉室 地域福祉課地域計画振興グループ	特別養護老人ホーム第三者評価調査
岸和田(卓球)スポーツ少年団	岸和田市スポーツ少年団への加盟登録	子供達の卓球指導 19年度全日本卓球道手杖大会 大阪代表として1名出場(大阪予選1位通過)
春木川の清掃		清掃組合にゴミの処理を依頼した
観光交流空間づくりモデル事業	大阪府知事 近隣各市町村長	国土交通省が募集した「観光交流空間づくりモデル事業」に応募するための企画書作成することを発案し各関係機関との勉強会を主催し意見を取りまとめた。
エアードレイルシステム振興事業	近畿運輸局 物流振興施設課 財務省 税関支署総務課	貨物運送の初率向上と共にエネルギー削減や環境保全事故防止といったモーダルシフトの推進を図るための勉強会を主催・官、民各アイデアを出し合う場を提供
泉佐野栄町まちづくり	泉佐野市都市計画課	駅前再開発事業についてプランや交付金を活用する方法等アドバイザー的活動を行っている。
	大阪府中央福祉調整センター	介護サービス情報の公表 福祉サービス第三者評価
国際橋梁会議	京都大学工学部	国際会議の運営支援
世界地盤工学会議	京都大学工学部	世界会議の運営支援
日独橋梁シンポジウム	大阪市立大学工学部	シンポジウム運営支援

- 2) 貴団体では、これまで他のNPO(町会、法人格のない市民団体、他のNPO法人など)と連携・協力して事業に取り組んだことはありますか。

他団体との連携が「ない」と回答した団体は25団体中20団体で80%に達する。このうち、行政機関との連携も「ない」と回答した団体は13団体で、全体の52%の団体が単独で活動していることになる。

回答25団体

	回答数	割合(%)
1 ある	3	12
2 ない	20	80
3 不明	2	8
	25	100



ある場合

事業の名称	相手方	内容
4/8(日)ドンチャカフェスタ	市社協 ボランティア 地域の人たち NPO	カジヤ町の活性化のためにドンチャカフェスタに参加する。
8/5(日)市民協の環境部会(山北・城東)牛滝川の清掃	三田町 町会10名、民生委員3名、婦人会5名、祭組織80名	牛滝川の中に入り投棄物の引き上げや清掃を行なう。
NPOよりあい倶楽部音楽祭	街かどデイハウス希望	音楽祭(毎年1回)
なぎさ海道「ベイエリアの緑・再発見」(平成17年、18年)	財団法人 泉佐野市公園緑化協会	ウォークの途中で二色の浜や、マールビーチでビーチクリーンの補助や、啓発。
魚庭(なにわ)の海作り大会(平成17年、18年)	大阪府漁業協同組合連合会	「きたときよりもうつくしく」の啓発活動 地域を好きになってもらうための「ご当地クイズ」など。

- 3) 貴団体では、貴団体の活動、取組み、イベント等をどういった形でPRしていますか。(3つ以内)

団体のPR方法は、「口コミ」が56%と最も多く、「チラシ・機関誌・ニュースレター等紙ベース作成」「ホームページ」44%と続く。

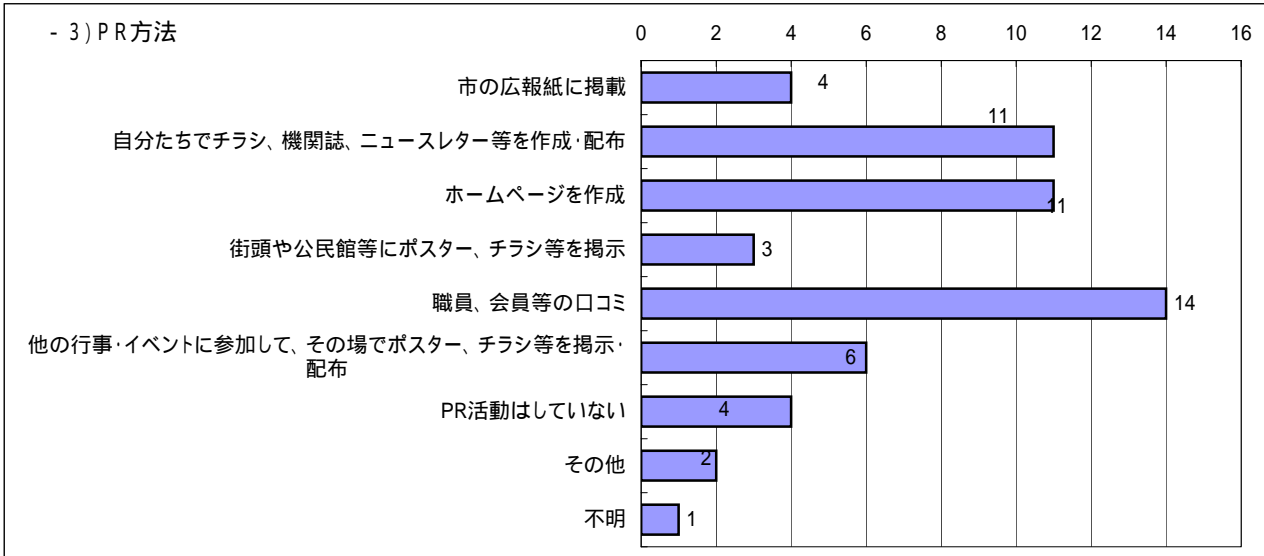
回答 25団体 3つ以内

	回答数	回答団体割合(%)
1 市の広報紙に掲載している。	4	16
2 自分たちでチラシ、機関誌、ニュースレター等を作成し、配布している。	11	44
3 ホームページを作成している。	11	44
4 街頭や公民館等にポスター、チラシ等を掲示・置いている。	3	12
5 職員、会員等の口コミによっている。	14	56
6 他の行事・イベントに参加して、その場でポスター、チラシ等を掲示・配布している。	6	24
7 特にこれといったPR活動はしていない。	4	16
8 その他	2	8
9 不明	1	4
	56	-

その他の回答



- ・ 居宅介護支援事業所と連携している。
- ・ シルバー人材センターにお金を出して配布してもらっている。

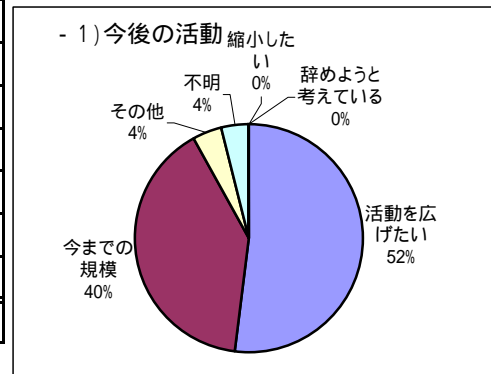


・ 今後の活動

- 1) 今後、貴団体の活動をどうしたいですか。

回答25団体

	回答数	割合(%)
1 活動を更に広げていきたい。	13	52
2 今までどおりの規模で活動を続けていきたい。	10	40
3 どちらかと言えば縮小していきたい。	0	0
4 活動を辞めようと考えている。	0	0
5 その他	1	4
6 不明	1	4
	25	100



その他の回答

- ・ 環境ビジネスに発展させて雇用の機会を拡大し環境整備と人の活用をしたいが現状では出来ない。(成り立たない)
- ・ 産業観光の方へ活動の視点を移す。

- 2 ) 今後、継続して活動を行っていく上で、貴団体にとっての課題・問題点は何ですか。  
( 3つ以内)

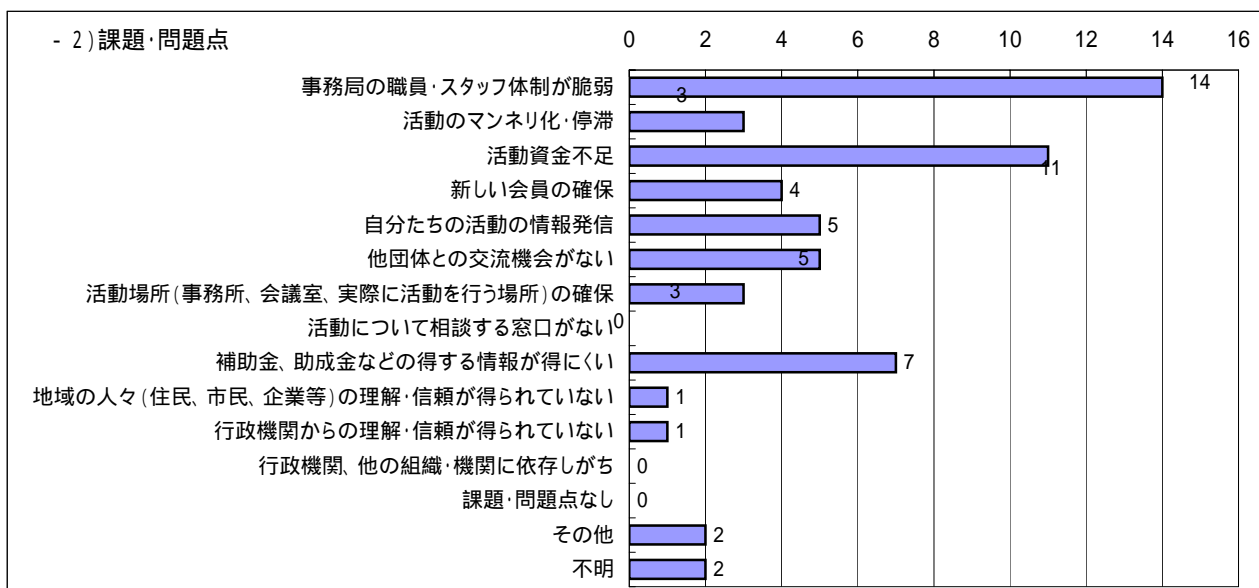
課題や問題点は、「事務局体制」56%、「活動資金」44%、「情報収集」28%、「情報発信」「他団体との交流」20%となっており、「今後の活動を広げたい」「現状維持したい」という希望を持っている団体が92%を占めるも、これらが支障となっている現状がある。

回答 25団体 3つ以内

	回答数	回答団体割合(%)
1 事務局の職員・スタッフ体制が脆弱である(事務局体制の充実・強化が必要である)。	14	56
2 活動がマンネリ化・停滞気味である。	3	12
3 活動資金が不足している。	11	44
4 新しい会員の確保が出来ていない。	4	16
5 自分たちの活動情報を上手に発信出来ていない(自分たちの活動を広める機会が少ない)。	5	20
6 他のNPO(町会、市民団体、NPO法人等の市民活動団体)と交流する機会が少ない。	5	20
7 活動場所(事務所、会議室、実際に活動を行う場所)の確保が難しい。	3	12
8 活動について相談する窓口がない(相談する相手がいない)。	0	0
9 補助金、助成金などといった自分たちが得する情報が得にくい。	7	28
10 地域の人々(住民、市民、企業等)の理解・信頼が得られていない。	1	4
11 行政機関からの理解・信頼が得られていない。	1	4
12 行政機関、他の組織・機関に依存しがちになっている。	0	0
13 特に課題・問題点はない。	0	0
14 その他	2	8
15 不明	2	8
	58	-

その他の回答

- ・ お金がかかっている  
岸和田市には子供用の卓球台がない 一般用高さ76cm 子供用(パンピ)66cm
- ・ スタッフの人材確保



- ・ 積極的なPR活動を行う。

活動実績、団体内の関係はリーダーを中心とした十分な結果を出していますがNPOとして堅実に展開を図るには が重要課題と考えています。特に若年層の会員確保に知恵を絞っていますが私たちが広く活動している中で勧誘をしています。また、口コミが一番良い宣伝方法。これを最大限活用。現在の活動を安定して継続する事。それを基に目指している里山のイメージを具体化して提示する事が最大の宣伝の場と考えています。そしてその体験活動が不可欠と思っています。また、専従者を置く(置ける)事業規模にいつするのがポイントです。

- ・ 長期休暇(夏休み、冬休み、春休み)の時に利用希望が多く断らなければならない。多くの子ども達を受け入れるためには場所、スタッフを確保しなければならないので費用の面からも難しい。

については同じ視点の中で地道に活動し情報を発信していく。についてはNPO(非営利組織)についての認識が行政も含め一般的に得られていない。NPOには低廉な金額、地域通貨、チケット等金銭的な要素のものが介在するケースがありますがこの辺の所が多くの人々には営利事業、金儲けと同じように受止められる傾向があります。私たちは今後もNPOの意義を世に訴え続けて行きたいと思います。行政の方々にはNPOが多くに人たちに理解してもらえようような情報発信の援助を切にお願いいたします。

- ・ 組織力を高め財政規模を安定させ活動場所のための資金を充実させて下さい。

事務局体制の充実というよりは規定上の必要事務や書類等の理解から始める必要があるといった初歩的段階です。(サービスの提供で手一杯) 補助金、助成金等があるに越した事はないがその為に整備しなければならない条件が困難であれば無理することもないといった程度で今後の検討課題としたい。

- ・ 子供用の卓球台がある処に出向いて練習する。(市の体育館、公民館に子供用の卓球台を設置していただきたいですが・・・予算がない!)(19年度全日本卓球選抜大会出場選手は上記のような練習方法となってしまった。) ・市の広報誌で宣伝、PRを安く出来る方法を検討していただければ有難い。

- ・ ハイテク中心の世の中であり、若者や高齢者、雇用の機会のない人達に環境ビジネスの一端をと考えたのですが緊縮財政の時代でもありそのギャップの中ではどうにも出来ない。 荒れた環境や公共物をみると胸が痛むが仕方がないかと諦める以外にない。

- ・ 3歳、4歳、5歳児の「心」を育てる保育を親と共に考え協力していく事が子育ての基本と考えてこの施設を立ち上げ運営しているが運営資金のやり繰りに苦労している。「保育園」から「幼稚園」というか画一的な見方によるのでなくもっと広く子育て施設への公的補助を願っている。

- ・ 他のNPO法人と交流してその機会があれば停滞気味の現状を打開したいと考えている。

- ・ NPOの勉強会、セミナー、行政の指導等ほしい。

- ・ 考案中です。チラシ、ポスターなどと合わせて求人誌に掲載しておりますが反響なくです。

- ・ 他団体との交流を増やし、情報収集を行い新しい活動を発掘していきたい。

- ・ 活動資金は賛助会員(法人、個人)を募って年会員を出してもらおうPR活動をしている。非会員(病院、介護施設等)の清掃、送迎等をして寄付してもらおう。

- ・ 市民、個々の問題、苦情、トラブル等が発生すれば、その事業が民事訴訟、刑事告発以外の事柄であれば問題をかかえる。国民に対し、マンツーマン的な手法で解決を計る事を理想とする法人であるが、受諾者も仕事も持っている為、事実は片手間的な取組みとなっているのが悩みである。問題を計る為の専門職業への相談窓口も必要ではないかと思慮さる。

- ・ 現状維持がやっとの状態にあり、スタッフ、資金なし  
課題：問題点の解決に向けて取組みはできていない。

- 4 ) 岸和田市では市民と行政による協働のまちづくりを推進しています。今後のまちづくり、NPO施策についてご意見・ご感想等あれば記述して下さい。(自由記述)

行政に対する意見として、「情報発信の援助をしてほしい」、「資金援助してほしい」、「他のNPO法人と交流したい」、「勉強会、セミナーを開催してほしい」、「専門窓口が必要」などがあつた。

回答8団体

全般的に観ますと活動目的によって関わる行政の対応が格差大が現実です。具体例ひとつ 協働とは共に働くとして理解する課と聞くだけで終わる課。市民の要望を全て聞く必要なく、要件の選別をして

- ・ 重要度の大きい順に対応して欲しい。それに対する市民の不満は話し合い、その他の段階(手段)で説得して下さい。市民対行政として対応する構図ですが目的は同じ志を持った人間ですからお互いに人間味を出し合えば一歩前進が出来ます。

1. 行政と市民が協働についての推進を図っていく事は大変意義のあることだと思います。これからも同じ目線で同じフィールドで意見交換が出来ればと願っています。

2. NPO施策については - 3で記入しましたようにNPOのご理解の周知をお願いしたい。

3. 市のホームページにNPOのコーナーを作りたい。(情報の発信、質問コーナー等)

子供連合会等への宣伝PRのつながりが出来るようになれば有難い。(個人情報保護等の関係で現在の子供会役員一覧が頂戴出来ず、宣伝PRの足を引っ張っている。)

- ・ もっと広く明るい活動出来るよう岸和田市の他のNPOの方々と交流の場を持たせたいです。

安全、安心のまちづくり、活力のあるまちづくりを目指して市民と行政が協働で推進出来るよう、つなぎの役目が出来ればと思っております。活力のあるまちづくりのためには岸和田駅前商店街の活性化と日本でも有数のだんじり祭を活用して更に岸和田、泉州地域が盛り上がるようなイベントを(例、泉州地域の祭りごとに選抜で駅伝を行なう・・・)考えていきたい。

インターネットで「NPO、まちづくり、行政」と検索をかけるだけで1003件以上の情報がヒット

します。それだけ何らかの活動が様々な型式で場所で行なわれているのだと思われます。当NPOも紀泉地域の発展のための活動を行って来ていますが、ここ数年会員だけの意見交流では思ったほどの成果が得られない状態です。やはり何かを行なうには言葉、人、物の行き来がなければ何も前には進みません。そういった行き来が出来る場、時間を提供できる行政であってほしいと思います。

- ・ どの市も大抵"まちづくり"と云った抽象的な言葉のお台目の追っかけをしている。

例えば「市が先頭に立って市民会員が介護義務の意識を持つような仕掛けを作って「老後は安心して住める街とする」と云ったイメージのわくPR方法、運動を検討する催しを繰り返し繰り返し5年、10年計画で進める。